North & South ～南北で見るすみだ～

ノース　サウス

区報ジュニアレポーター企画

唯一無二のカフェになる

もとは薬局だった店内。机と椅子は学習塾から譲り受け、子どもたちの落書きがそのままに残る。温かみのある少し暗い明かりが心をノスタルジックにさせてくれます。

オーナーの山中明子さん

カフェこぐま"ならでは"のものを、とメニューには「焼きオムライス」「あんみつ玉」など、個性溢れる、ここにしかないものが並びます。この2つは、すみだの想いを伝えられるものとして、「すみだモダン」に認証されています。今回私たちが取材させていただいたのは、2013年にすみだモダンに認証された「あんみつ玉」です。

あんみつ玉はあんみつの具材を寒天ゼリーに閉じ込め、こちらも自家製の黒蜜をかけます。その見た目はまるで宝石のようで、「美しい」の一言です。

墨田区の出身ではない、という店主さんご夫婦。ですが、カフェの店舗探しをしていた際に、今のお店に出会い、「ここでカフェをしよう。この土地、建物と共にお店をやりたい」そう思われたそうです。

だからこそ、古い建物を活かしたレトロな雰囲気と革新的なメニューの融合が、オリジナリティに富んだ唯一無二のカフェになっているのだと思います。

（記事作成　金川 響さん）

古民家カフェ　こぐま

[ところ]東向島1－23－14
[営業時間]午前10時半～午後6時
[定休日]火・水曜日
[電話番号]☎3610－0675

Junior Reporter 東向島

オリジナリティ × 東向島＝カフェこぐま

268,034 いいね！
#フォトジェニック!!　#インスタ女子
#集合　#共に生きる
#唯一無二のカフェを

美しい江戸切子で特別な一杯を

写真右が店長の廣田英朗さん

すみだ珈琲では、カップに江戸切子を使用しています。墨田区の物を使いたいという想いと、オーナーの廣田さんのお父様がガラス屋であったことから、江戸切子を使用するという発想が浮かんだと言います。そこで廣田さんは、「江戸切子で熱いものを飲めたら面白い」と思い、職人の方に頼んで、熱いものも飲める江戸切子に改良していただいたそうです。

甘くコクのあるコーヒーを飲んだことをきっかけに、世界中の様々なコーヒーを紹介したいと思い、珈琲店を開いた廣田さんは、コーヒー豆にもこだわっています。コーヒー豆の中でも、5%～7%ほどしか無い、スペシャルティコーヒー豆のコーヒーを提供しています。この豆で淹れたコーヒーは、香りとコクが特徴です。

モカチーズケーキは、2014年に「すみだモダン」に認証されました。廣田さんは、「認証されることで、安心して来てくれる方が増えたのでありがたい」と語っていました。

（記事作成　井上楽々さん）

Junior Reporter 太平

珈琲のコクと香りがして、珈琲が苦手でもおいしく食べられる！

268,034 いいね！
#すみだ珈琲　#モカチーズケーキ
#江戸切子　#スペシャルティコーヒー豆
#すみだモダン

すみだ珈琲

[ところ]太平4－7－11
[営業時間]午前11時～午後7時
[定休日]水曜日、第2・4火曜日
[電話番号]☎5637－7783

農村地帯だった墨田区北部

奈良時代から平安時代には、現在の木母寺付近から鐘ヶ淵駅付近にかけて古代東海道（国府間を結ぶ官道）が通っていました。12世紀頃、現在の墨田区と近隣の葛飾区・江戸川区を含んだ地域に伊勢神宮の荘園として葛西御厨が成立しましたが、治めていた葛西氏は南北朝期には東北に拠点を移しています。江戸時代、明暦の大火（1657年）をきっかけに南部の本所地域が開発されましたが、北部の農村地帯は野菜等の生産地として大都市・江戸への食糧を供給していました。明治11年（1178年）に北部は南葛飾郡に編入され、近代以降は工業地帯として発展していきました。

Junior Reporter 桜橋

そうだ桜橋、行こう。

268,034 いいね！
#家族と　#友達と　#恋人と
#花見と夜桜なら　#桜橋へgo!!

Junior Reporter 吾妻橋

台東区と墨田区をつなげる橋！浅草のシャッタースポットといえばココ！！

268,034 いいね！
#吾妻橋　#シャッタースポット　#墨田区
#台東区　#隅田川

碁盤の目のような墨田区南部

南部の街区が碁盤の目のようになったのは、1657年の明暦の大火がきっかけでした。この火事で江戸はほぼ全焼、10万人以上の命が奪われてしまいました。その後、防火対策中心の都市復興に着手し、1661年には隅田川に両国橋を架け、市中に防火堤や火除地を設けました。この防火計画に従って、武家屋敷などの移転先に選ばれたのが、現在の墨田区南部でした。また、この時に区画整理を進めた結果、街区は碁盤の目のようになりました。

（記事作成　井上楽々さん）

【取材先】すみだ郷土文化資料館（向島2－3－5）

Junior Reporter 墨田

すみだの歴史と伝統を聞くならココへ

268,034 いいね！
#区で最古の山門　#毘沙門天
#住職さんの　#すみだ愛　#No.1

多聞寺、イイ感じ！！

多聞寺（墨田5－31－13）

隅田川七福神のひとつがある、多聞寺。その名前の由来はこのお寺の御本尊であり、七福神としても知られる毘沙門天の別名「多聞天」からきています。

皆さんは、墨田区内で一番古い建造物が何か知っていますか？実は多聞寺の山門がそれにあたります。享保3年（1718年）に一度焼失してしまい、現在のものはその後に再建されたものですが、すみだの街を眺め続けています。そしてその山門には至る所に魔除けの朱の跡が見られます。さらに、門の屋根が茅葺きである事も大きな特徴です。茅は頻繁には交換せず、一番下には昔のものがそのまま残っているそうです。

「もっとすみだの伝統に触れてほしい」と、住職の岸田さんは語ります。多聞寺と地域の関わりの歴史を写真や年表を交えながら教えてくれました。能の題材である「梅若丸」や多聞寺に伝わる幾つかの伝説。これらを知って、「すみだのアイデンティティ」を広めてほしい。そうおっしゃっていました。川に囲まれた土地の有効活用の方法や伝統の継承など、アイディアマンの住職さんからは、多聞寺への誇り、すみだへの愛が感じられました。

（記事作成　金川 響さん）

お話を伺った岸田正博さん

回向院（両国2－8－10）

無縁寺から始まった歴史

回向院の正式名称は「諸宗山無縁寺回向院」と言います。1657年、江戸では明暦の大火があり、10万人以上もの尊い命が奪われました。明暦の大火で亡くなった人々は身元の分からない人ばかりだったので、その人々を供養するために建てられたのが始まりです。

回向院の御本尊「阿弥陀如来」は、もともとは本堂を背にして露天に安置されていました。副住職の本多さんは「色々な方の願いが込められています。楽しみながら手を合わせて。」と話していました。

お話を伺った本多将敬さん

回向院には、義賊・鼠小僧次郎吉の墓があります。鼠小僧は生前、するりと盗みに入ったことから、「受験にするりと合格」ということで、受験生に人気です。また、鼠小僧の墓石を削り、お守りに持ち帰る風習があるので、本多さんは「現在の墓石は、既に100基目を超えているのではないか」と話していました。

鼠小僧の墓の前には、塩地蔵があります。参詣者は願い事が成就すると塩を供えたので、「塩地蔵」という名前が付きました。溶岩が溶けたような見た目から、「悪いところが流れていく」と言われています。

（記事作成　井上楽々さん）

Junior Reporter 両国

受験生にオススメ！！

268,034 いいね！
#回向院　#無縁寺　#鼠小僧の墓
#塩地蔵　#明暦の大火

お知らせ　食中毒予防3原則　食中毒菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」　生活衛生課食品衛生係☎5608-6943